

【ベストガード®粒剤】2016年4月19日

ベストガードは住友化学㈱の登録商標

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

←この色の部分が2016年4月6日付けで変更になりました。

【適用害虫と使用方法】

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びニテンピラムを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数※	使用方法	
きく	アブラムシ類	1～2g/株	発生初期	4回以内	生育期株元散布	
	ミカンキイロアザミウマ、マメハモグリバエ	2g/株				
きんせんか	マメハモグリバエ	1～2g/株	定植前	本剤:1回 ニテンピラム:4回以内	培土混和	
	アブラムシ類					
花き類・観葉植物(きく、きんせんかを除く)	アブラムシ類	3～5g/培土L	定植前	本剤:1回 ニテンピラム:4回以内	培土混和	
	アブラムシ類	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り50g	育苗期後半	本剤:1回 ニテンピラム:4回以内(定植時までの処理は1回以内、株元散布及び水溶剤の散布は合計3回以内)	散布	
なす	アブラムシ類、コナジラミ類、ミナミキイロアザミウマ	1～2g/株	定植時		植穴処理土壌混和	
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期		株元処理	
	アブラムシ類	5g/培土L	は種時又は鉢上げ時		育苗培土混和	
トマト、ミニトマト	アブラムシ類	2g/株	収穫前日まで	本剤:3回以内 ニテンピラム:4回以内(定植時までの処理は1回以内、株元散布及び水溶剤の散布は合計3回以内)	生育期株元散布	
	マメハモグリバエ	2g/株	定植時		本剤:1回 ニテンピラム:4回以内(定植時までの処理は1回以内、水溶剤の散布は3回以内)	植穴処理土壌混和
	アブラムシ類	1g/株	育苗期			株元処理
	アブラムシ類、コナジラミ類	1～2g/株	定植時			植穴処理土壌混和
		5g/培土L	は種時又は鉢上げ時			育苗培土混和
		セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り50g	育苗期後半			散布
コナジラミ類	1～2g/株	育苗期	株元処理			
きゅうり	コナジラミ類	5g/培土L	は種時	本剤:1回 ニテンピラム:4回以内(定植時までの処理は1回以内、水溶剤の散布は3回以内)	育苗培土混和	
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期		株元処理	
	アブラムシ類、コナジラミ類、ミナミキイロアザミウマ	1～2g/株	定植時		植穴処理土壌混和	
すいか	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期	本剤:1回	株元処理	
	アブラムシ類、コナジラミ類、ミナミキイロアザミウマ	1～2g/株	定植時	ニテンピラム:4回以内(育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)	植穴処理土壌混和	
ピーマン、ししとう	アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ	1～2g/株	定植時	本剤:1回 ニテンピラム:4回以内(育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)	植穴処理土壌混和	
	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期		株元処理	
とうがらし類(ししとうを除く)	アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマ	1～2g/株	定植時	本剤:1回 ニテンピラム:4回以内(育苗期の株元処理及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)	植穴処理土壌混和	
メロン	アブラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期	本剤:1回 ニテンピラム:4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)	株元処理	
	ミナミキイロアザミウマ	1～2g/株				
		2g/株				
いちご	アブラムシ類	1g/株	定植時	本剤:1回 ニテンピラム:4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内)	植穴処理土壌混和	
ねぎ	ネギアザミウマ	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約3～4L)当り50g	定植当日	本剤:1回 ニテンピラム:4回以内(定植時までの処理は1回以内、株元処理及び水溶剤の散布は合計3回以内)	セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する	
			は種時		作条処理土壌混和	
			定植時		植溝処理土壌混和	
	ネギハモグリバエ ネギアザミウマ	6kg/10a	収穫前日まで	本剤:3回以内 ニテンピラム:4回以内(定植時までの処理は1回以内、株元処理及び水溶剤の散布は合計3回以内)	株元処理	
	ネギハモグリバエ	5g/培土L	は種時	本剤:1回 ニテンピラム:4回以内(定植時までの処理は1回以内、株元処理及び水溶剤の散布は合計3回以内)	育苗培土混和	
わけぎ、あさつき		6kg/10a	定植時	1回	植溝処理土壌混和	
しゅんぎく	アブラムシ類、コナジラミ類、マメハモグリバエ	9kg/10a	定植時	本剤:1回 ニテンピラム:2回以内(定植時の土壌混和は1回以内、株元処理は1回以内)	植溝処理土壌混和	
			収穫3日前まで		生育期株元処理	
すいぜんじな	アブラムシ類、マメハモグリバエ、アザミウマ類	9kg/10a	定植時	本剤:1回 ニテンピラム:2回以内(定植時の土壌混和は1回以内、株元処理は1回以内)	植溝処理土壌混和	
			収穫3日前まで		生育期株元処理	
レタス	ナモグリバエ	0.5～1g/株	育苗期後半	本剤:1回 ニテンピラム:4回以内(定植時までの処理は1回以内、水溶剤の散布は3回以内)	株元処理	
		10g/培土L	は種時		育苗培土混和	
	アブラムシ類	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約1.5～4L)当り50g	育苗期後半	本剤:1回 ニテンピラム:4回以内(定植時までの処理は1回以内、水溶剤の散布は3回以内)	散布	
食用ぎく	アブラムシ類、ミカンキイロアザミウマ、マメハモグリバエ	2g/株	収穫前日まで	2回以内	生育期株元散布	
ズッキーニ	アザミウマ類	1～2g/株	定植時	1回	植穴処理土壌混和	

うり類(漬物用)	アブラムシ類				
稲	カメムシ類	4kg/10a	収穫 14 日前まで	4回以内	散布
	ツマグロヨコバイ、ウンカ類	3~4kg/10a			

【効果・薬害等の注意】

- ① トマト及びなすの鉢上げ時においては、直径9 cm 程度の鉢までとしてください。
- ② 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所又は販売店等と相談することが望ましいです。
- ③ 水稻に使用する場合は3 cm 前後の湛水とし、田面に均一に散布し、散布後4～5 日間は湛水状態を保ち、散布後7 日間は落水やかけ流しはしないでください。漏水のはげしい水田では使用しないでください。
- ④ 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病虫害防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

【安全使用上の注意】 マスク着用

- ① 体調のすぐれない時は散布しないでください。
- ② 散布時は、農薬用マスクなどを着用してください。作業後はうがいをしてください。
- ④ 散布中や散布当日は散布区域に小児やペットが立ち入らないように配慮してください。
- ⑤ 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ⑥ ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
- ⑦ マルハナバチを利用する場合、本剤使用後20 日目ごろより後に導入してください。ただし、影響日数は環境条件により多少変動する場合がありますので注意してください。
- ⑧ 使用後の空容器は良くたたいて中身を完全にだしてから処理してください。